

日本睡眠学会 共同シンポジウム

職域における睡眠課題の解決

5月17日（木） 17:10～19:10

A会場（熊本市民会館 1F 大ホール）

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座／日本産業衛生学会）

津田 徹（医療法人恵友会 霧ヶ丘つだ病院／日本産業衛生学会）

1. 睡眠不足症候群の診断と治療

内村 直尚（久留米大学医学部神経精神医学講座）

2. 睡眠時無呼吸症の病態と本那での診療

千葉伸太郎（太田総合病院記念研究所 太田睡眠科学センター・東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学講座）

3. 勤労者の睡眠問題への対応

新島 邦行（スズキ株式会社 相良工場 工務課医務室）

4. 職域における睡眠呼吸障害

ー主治医と産業医の連携から健康経営へー

和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

特別発言：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

座長の言葉

本シンポジウムは、日本睡眠学会との共催で、「職域における睡眠課題の解決」と題して、これまで自由集会「職域における睡眠呼吸障害」で共有してきた睡眠障害全般に関する問題点を討議します。

内村先生は、睡眠を一時間多く取ることが血圧低下と関連することや、メタボ対策に睡眠の有効性を示すなど生活習慣病に及ぼす睡眠の影響についてお伺いできることを期待しています。

千葉先生は、耳鼻咽喉科、睡眠医学の臨床医として診断から治療を手掛けておられます。本日は、日本睡眠学会を代表して、臨床医からみた職域における睡眠課題についてご発言頂きます。

新島先生は、公共交通機関における産業医として勤務された後、睡眠医療の専門クリニックにて臨床に従事され、現在再び大手製造業の産業医としてご活躍中です。今回は、これまでのご経験の中から交代勤務をはじめとする睡眠障害の症例をもとに現場の観点から本シンポジウムへ提言をお願い致しました。

和田先生は、労災疾病臨床研究事業費補助金「主治医と産業医の連携に関する有効な手法の提案に関する研究」に参画した中で、睡眠呼吸障害患者の疾病と就労の両立支援において産業医と臨床医の連携に関して報告頂く予定です。

本日のシンポジウムでは、これらの内容を踏まえた上で、睡眠に関する課題が職域で取り組むべき重要な健康問題として認識を共有するとともにその解決を目指します。